

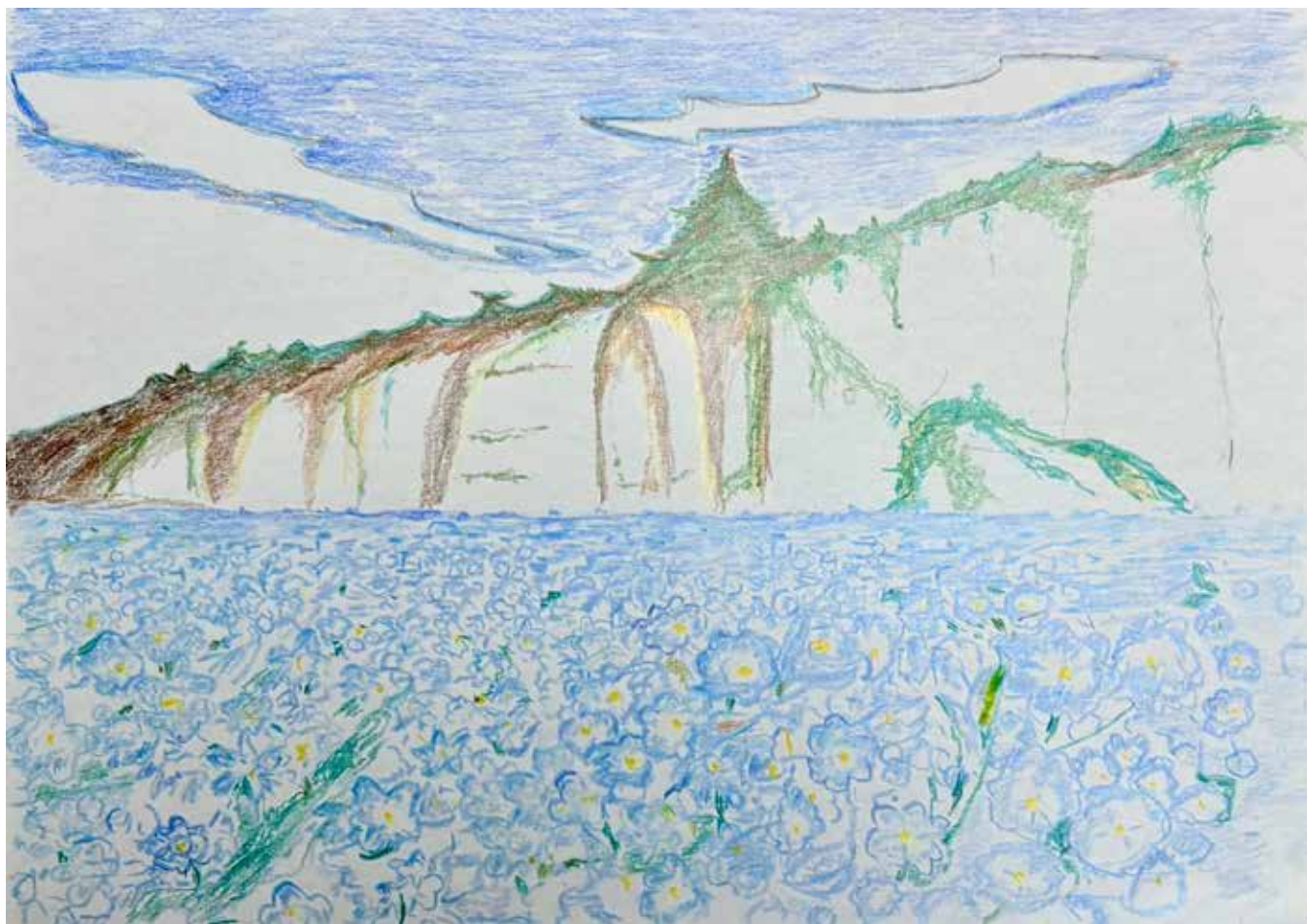


コトノン便り

5

言の葉 2026 年テーマ「コトをカタチへ」

2026
NO.120



言の葉の存在意義

Purpose

「リハビリテーションの力で、“その人らしさ”と“その街らしさ”を育む」



Instagram



HomePage

今年も田植えの時期が近づいてきました。先日、竹田の衛藤農家さんの種まきに参加させていただきました。

2020年から衛藤農家さんのお米を販売させていただいており、今年で6年目になります。微力ではありますが、毎年、お手伝いできる時間にかがっています。力仕事を中心に、少しでもお役に立てるよう努めています。

さて、言の葉では、大切にしている価値 (Values) を定めています。



す。行動する時、振り返る時、判断に迷う時など、この5つの指針を抛り所に前進しています。

衛藤農家さんのお米づくりに参加させていただくと、この5つの価値がまさに体现されていると感じます。先日の種まきでも、改めて多くの学びがありましたので紹介します。

まず、ご自宅に到着すると、笑顔で迎え入れてくださり、お茶やお菓子を振る舞っていただきました。ご親戚やご近所の方も集まり、自然とお茶の時間が始まります。そこには、人を大切に作る温かい心があります。

Mind 種まきの作業が始まると、長年の経験に基づく確かな判断と、その時々状況に応じた感性を合わせながら作業が進められていきます。一つひとつの工程が丁寧であり、その背景には日々の準備と積み重ねがあります。**Professional** お米づくりは決して一人では完結しません。親戚や近所の方々と

言の葉が大切にしている価値 (Values)

- ・ Mind (いつも笑顔で真心を届ける)
- ・ Professional (準備と努力を怠らない)
- ・ One Team (一致団結して前進する)
- ・ Community (地域の一員としてつながる)
- ・ Challenge (挑戦の一步を踏み出す)

協力しながら、それぞれのやり方を尊重しつつ、対話を重ね、その時の最適解を見つけて進めていきます。**One Team** 困った時にはお互い様という関係性の中で、農機具の貸し借りや作業の助け合いが自然と行われます。お茶の時間や宴の場も含めて、深いつながりが育まれています。

Community

農業は自然が相手であり、思い通りにいかないことも多くあります。その年の天候や稲の状態に応じて工夫を重ねる姿は、まさに挑戦の連続です。また、私のような素人も快く受け入れてくださる柔軟さも感じます。

Challenge

DXやAI、効率化・大規模化が求められる時代だからこそ、人として大切にしたい「根っこ」の部分があります。衛藤農家さんのお米づくりに参加させていただく中で、その本質に触れさせてもらっていると感じます。

私たちが言の葉も、この5つの価値を大切にしながら、日々の実践を通して「**コトをカタチへ**」とつなげていきたいと思えます。



中村 太一
代表取締役 言語聴覚士

言の葉の誓い Statement

1. 「らしさを広げる」

私たちは、「あなたらしさ・私らしさ・私たちらしさ」を大切に、共に広げていきます。

コミュニケーションサービス 言の葉

自家焙煎珈琲

珈琲の自家焙煎の取り組みをはじめました。今まで、プロに焙煎してもらっていましたが、今月からは、焙煎機を使って自家焙煎に挑戦しています。少しずつ、美味しく焙煎ができるようになってきたので、サービスでも徐々に提供を始めました。

スペシャルティコーヒーの豆を扱っています。美味しい珈琲を提供できるよう腕を上げていきますのでお楽しみに。

また、失語症の方の就労作業の一つにもつなげていく予定です。



珈琲の生豆



焙煎後



3事業所感染対策の取り組み ～看護師による感染対策巡回サポート～

訪問看護の看護師さんが中心となって、3事業所の感染対策の取り組みを強化しています。今月は、手洗いと消毒、感染グッズの管理方法について各事業所の状況を確認しています。

以前のコトノン便りでも紹介しましたが、手洗いや消毒は実施方法によって効果が違ってきます。また、ハンドソープや手拭きペーパーの設置場所や破棄の方法なども感染に影響してきます。

利用者さんやスタッフの安心・安全に向けて、一つ一つ良い環境を作っていきます。



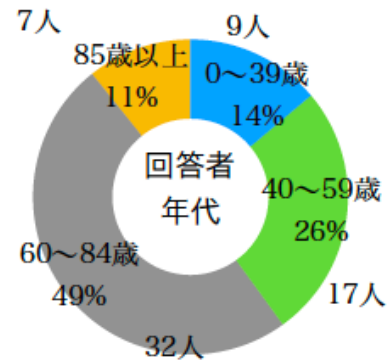
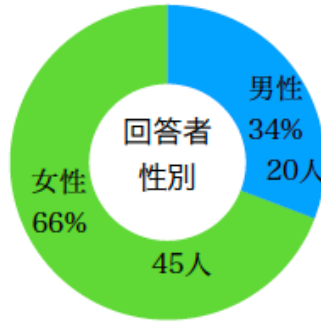
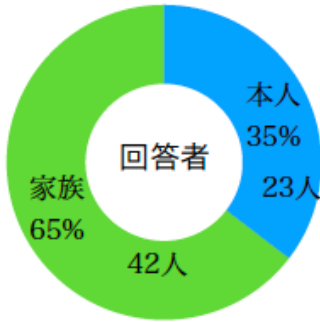
言の葉の誓い Statement

2. 「食と会話でつながる」

私たちは、コミュニケーションと食をテーマに、人と人のつながりを生み出します。

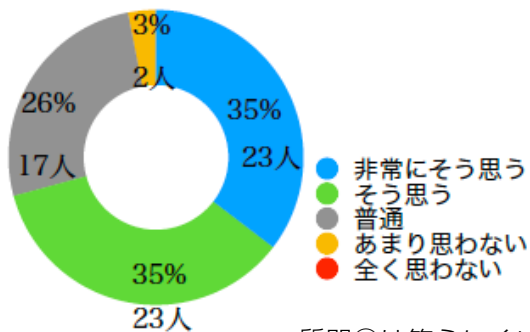
訪問看護ステーション 言の葉

訪問看護ステーション言の葉では、令和7年度より「利用者満足度調査」の取り組みをはじめました。65世帯の方にご協力いただいたことに感謝申し上げます。調査結果をまとめましたので、ご覧ください。



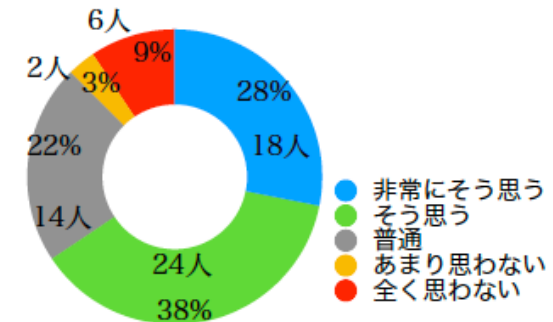
【質問④】

職員は時間通りに訪問する



【質問⑤】

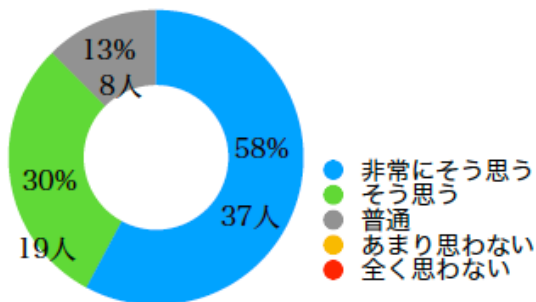
訪問時が遅れたり時間変更の連絡がある



質問⑤は答えにくい質問内容となってしまいました。時間変更の連絡がある場合に青・緑・グレーの回答になりますが、そもそも時間変更がない場合に赤を選択していただいた方もいらっしゃいました。来年度は回答しやすい質問内容に変更します。

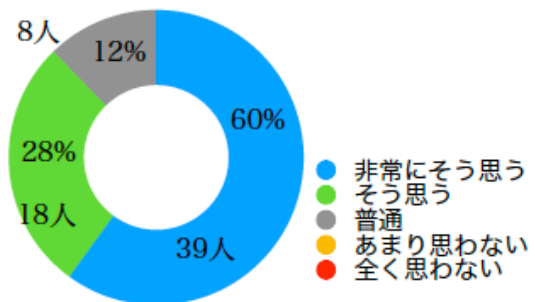
【質問⑥】

挨拶を元気にしている



【質問⑦】

職員の言葉使いや態度は良い



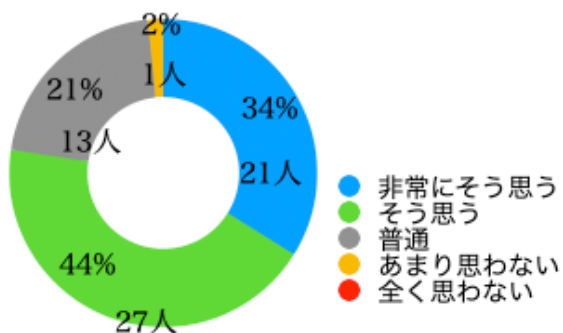
言の葉の誓い Statement

3. 「人と街を信じる」

私たちは、その人の力を信じ、その街の力を信じ、リハビリテーションの視点から新しい可能性を共に開きます。

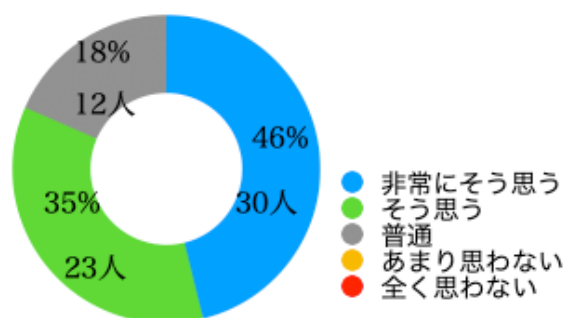
【質問⑧】

訪問時ケアなどについての事前説明がある



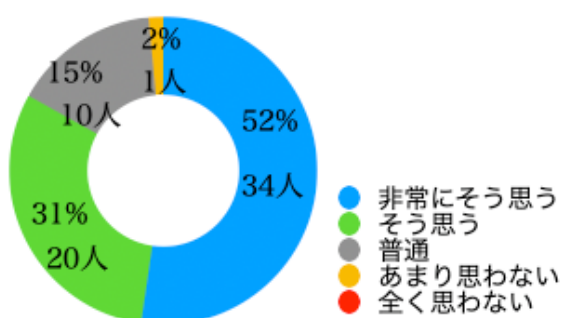
【質問⑨】

わからないことを教えてくれる



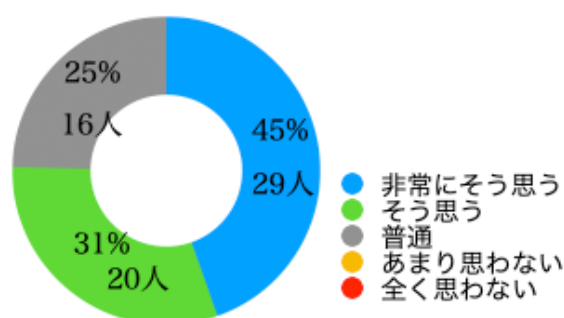
【質問⑩】

話をよく聞いてくれる



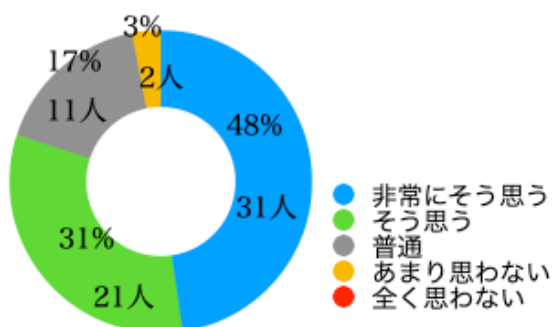
【質問⑪】

家族への説明がある



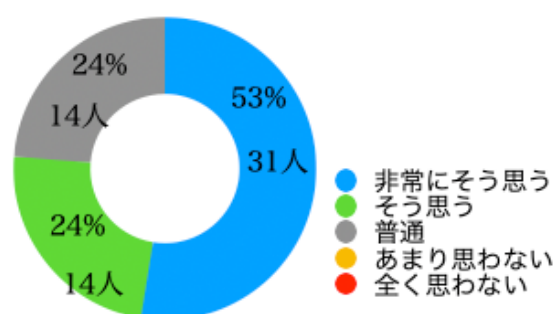
【質問⑫】

医療の専門的知識や技術がある



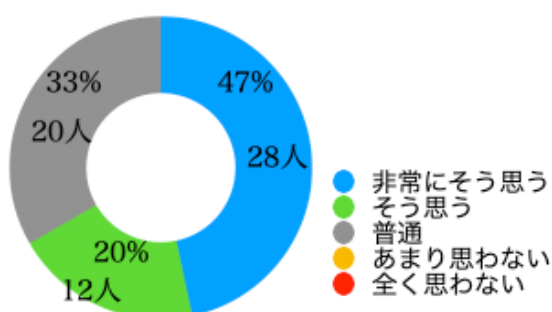
【質問⑬】

処置や手当の手際が良い



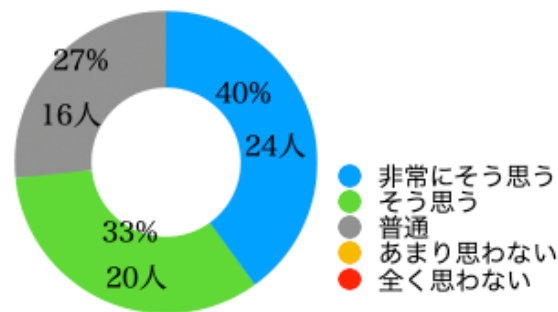
【質問⑭】

医師など医療機関との連絡・連携がとれている
田



【質問⑮】

ケアマネジャーや相談員など関係機関との連携が取れている

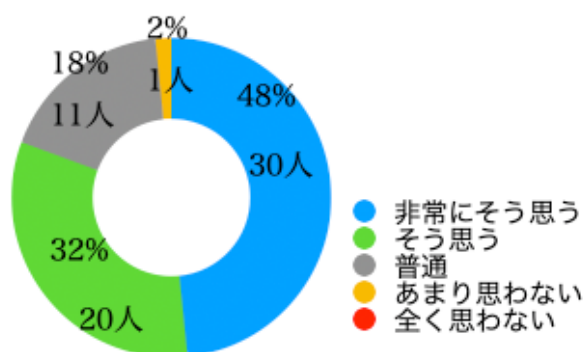


言の葉が目指す未来 Vision

「障害のある人もない人も皆が支え合い、豊かに暮らせる街を育む」

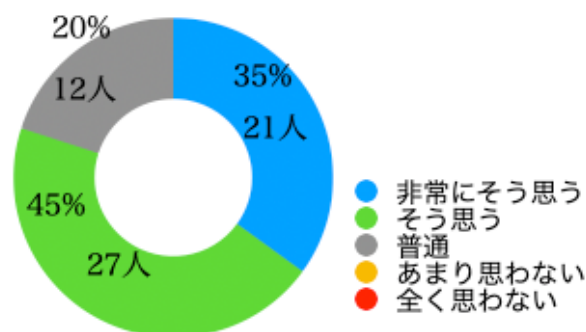
【質問⑩】

事業所内での連携がとれている



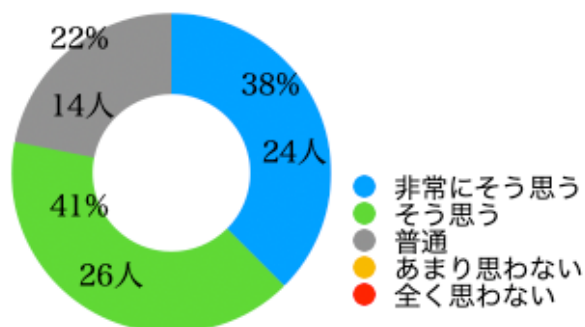
【質問⑪】

24時間連絡や相談ができる
田



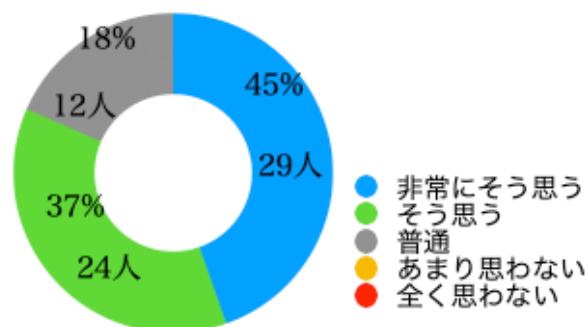
【質問⑫】

訪問回数や時間に満足している



【質問⑬】

事業所の電話対応時の言葉遣いや態度は良い



どの項目も、青「非常にそう思う」、緑「そう思う」の回答を多くいただきました。ご利用者さまに満足いただいている内容についてはさらに充実・安定したサービスを継続できるよう努めていきます。

一方で、いくつかの質問に対してオレンジ「あまり思わない」の回答もいただきました。支援の内容・目的についての説明や根拠に基づいたリハケアサービスの提供、事業所内外の連携をさらに充実させていけるよう努めていきます。

また、今後はご利用者様や関係事業所の皆さんと双方向の関係を深めていけるよう、事業所報告会などの企画も考えていきます。

地域に開かれた訪問看護事業所を目指していきます。

今後ともよろしくお願いします。

言の葉が果たす役割 Mission

全世代の人生に寄り添うリハビリテーション

「子どもから高齢者まで全世代に、生活を創造する真のリハビリテーションサービスを提供し、その人の人生を共に歩みます」

言の葉きっず

危険予測・発見活動（KY活動）

テーマ：外出時の危険予測について

春のやわらかな光が心地よく、外出の機会がぐんと増える春休みがやってきますね。言の葉きっずでも、こども達と車でのお出かけなど、戸外活動を予定しています。

そこで今回は、外出時の危険予測を行いました。外出には楽しい発見や体験がたくさんありますが、その一方で、場面ごとに気をつけたいことも変わってきます。

例えば、

- ・車に乗るとき
- ・現地に着いて車から降りるとき
- ・駐車場から建物へ移動するとき
- ・人が多い場所で過ごすとき
- ・初めての場所で過ごすとき



など、それぞれの場面でどんな危険があるかを、まずはスタッフ間で考えました。

- ・楽しみな気持ちで走って転んでしまうかもしれない
- ・待つ時間が長いと不安になってしまうかもしれない
- ・車が多くて危ないかもしれない
- ・好きなものに夢中になり、迷子になるかもしれない
- ・初めての場所で怖くなってしまうかもしれない

このように、こども達の姿や気持ちを思い浮かべながら予測を広げました。

どの予測においても特に大切にしたいことは、「手を離してしまうことで事故につながる可能性がある」という点です。そこで言の葉きっずでは、

- ・外出時は必ず手をつなぐことをこども達と約束すること
- ・スタッフは複数名で役割分担をしながら、安全確認を行うこと

を改めて確認しました。

外出時の危険予知や対策は、行き先や環境、その日のこども達の様子によって変わります。今後は外出前後の時間を活用し、こども達とも一緒に「どんなことに気をつけるとよいか」を話し合いながら、楽しく安全に過ごす力を育んでいきたいと考えています。

ご家庭でも、お出かけの前に「ここはどんなことに気をつけようか？」と声をかけていただいたり、帰宅後に「安全に過ごせたね」と振り返ったりすることで、子どもたちの安心感や自信につながります。

春休みならではのワクワクする体験を大切にしながら、これからも安全に楽しく外出できるよう支援していきます。



Reported by

言の葉が大切にしている価値 Value

1.Mind いつも笑顔で真心を届ける

言の葉きっず

素敵な瞬間♪

勝ち負けを受け入れたCさん



自閉スペクトラム症のCさんは、椅子取りゲームやカードゲームなどのゲームで負けると泣いてしまい、近くにある物を投げてしまったり、お友達を叩いたりしてしまうことがあります。

そこで言の葉きっずは、①～③の取り組みを行いました。

- ①負けても受け入れられることはなにかを探す
→じゃんけんでは負けても気にしない
- ②負けて受け入れられた時に褒める
- ③ゲームを始める前に「負けたらどうするか？」を話し合っておく
(悔しいから部屋を移動して遊ぶ、スタッフとハグをするなど)

この取り組みを継続して1年ほど経った先日、いままで負けると怒っていた椅子取りゲームをしていた時です。途中で負けてしまったのですが、自らスタッフのもとに駆け寄りハグをして気持ちを切り替えて観覧席に移動することができました。その時の表情はとてにこやかに椅子取りゲームを楽しんでおり、Cさんの素敵な瞬間でした♪

ゲームでの負けを受け入れられず泣いてしまったり、癇癩を起こしてしまう こどもへの言の葉きっずの支援のあり方

1. ゲームでの負けを受け入れられない理由

- ①感情コントロールが苦手 (負けた時の感情の吐き出し場所、方法を知らない)
- ②勝ちへのこだわり
- ③成功体験の少なさ (負けても大丈夫だった)

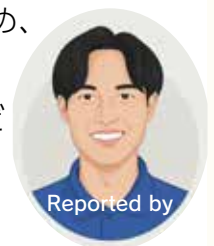
発達特性のあるお子さんの場合、勝ちへのこだわりがあったり、感情コントロールが苦手な癇癩につながってしまいます。また、勝った経験や負けても大丈夫だった経験の少なさから勝ちへのこだわりがより強くなってしまいう傾向にあります。

2. 負けを受け入れられるようになるための支援

- ①負けても受け入れられることを探し、負けても受け入れられたことを褒める
- ②負けてしまった時の「どうする？」を事前に考える

ゲーム負けてしまったなど大きな出来事で癇癩を起こすお子さんでもじゃんけんやカルタで1枚取られたりなど小さな負けは受けられるお子さんが多いです。そのため、負けても受け入れられることを探し、それを褒めてあげることが重要です。

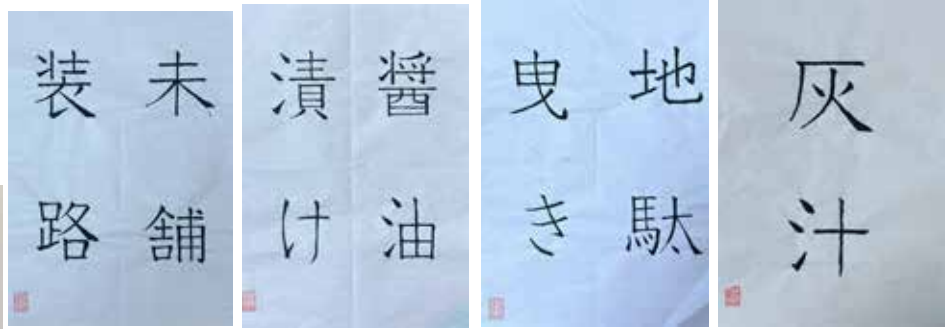
また、ゲームを始める前に負けても「お菓子を食べよう」「ハグをしよう」など負けた後のクールダウンの方法を本人と話し合い負けても大丈夫だった、気持ちを落ち着かせることができた経験を積むことで勝ち負けへのこだわりが軽減していきます。



言の葉が大切にしている価値 Value

2. Professional 準備と努力を怠らない

言の葉作品展



言の葉が大切にされる価値 Value
3.One Team 一致団結して前進する



珈琲飲み隊 コトレンジャー



1号 コトグレン



2号 コトキチ



3号 コトミツ



4号 コトハ



5号 コトノン



6号 コトリーナ



7号 こんざう



8号 コトコ



FAX : 097-509-1320
Mail : kotonoha@habisapo.jp

QR コード



Instagram



公式 LINE



注文先 ご注文やお問合せは FAX、Mail、QR コード、DM、公式ラインなどからお受けしています。

大分市内の方は配達にてお届けします

	豆 200g 1,300円 (税込)	粉 200g 1,300円 (税込)	ドリップパック 10g 250円 (税込)	氏名
1号 コトグレン	個	個	個	住所
2号 コトキチ	個	個	個	
3号 コトミツ	個	個	個	電話番号
4号 コトハ	個	個	個	
5号 コトノン	個	個	個	メール
6号 コトリーナ	個	個	個	
7号 こんざう	個	個	個	
8号 コトコ	個	個	個	

Jun's Essay No.62

いきなりですが、頑張すぎてちょっと辛そうな人に「無理しないでね」と言

うのではなく、「あなたのペースでね」という。そんな時は、「大丈夫」ではなく、「何かできることがある」という。そして、結果が出た時、「もっと頑張ってるよ」ではなく、「もう十分、頑張っているよ」という。また、「すごいね」ではなく、「努力がちゃんと実ってるね」という。

誰かに傷つくことを言われた人に、「気にしないで」ではなく、「私は味方だよ」という。そして、「落ち着いて」ではなく、「深呼吸しようか」と、「元気を出して」ではなく、「今日はちょっとゆっくりしよう」という。そして、「なんとかなるよ」ではなく、「一緒に考えよう」という。もしくは、「逃げないで」ではなく、「違う道もあるよ」という。また、「やめた方がいいよ」ではなく、「こういう方法があるよ」という。

言い方 言い方一つで心は変わる

普段、なにげなく使っている言葉が、意識してみよう。同じ思いでも、伝え方・言い方で心が変わります。相手も自分も。

「よろしくお願いします」も、普段、何気なく使う言葉ですが、言葉の響きに焦点を当てて、感じてみると、どうでしょうか。言い方によって違った気分になることに気づきませんか。ために「大変お世話になりました。これからよろしくお願いします」と声に出してみる。この時、相手だけでなくその言葉の響きを感じてみる。自分が発する言葉に心がこもっていれば、ポジティブな気分が起きます。しかし、機械的に言っているとしたら、自分の心と体にポジティブな変化はなにかもしれません。もしかすると、たったこれだけの違いで、人生が変わってしまうのも、お



おげさではないかもしれませんが。

なぜなら、ポジティブな気分というのは、満足感や充実感や幸福感とも置き換えることができるから。ポジティブな響きは、自分はその言葉をどんな気持ちで言っているかによって決まります。相手に言う言葉であっても、その言葉に心がこもっていれば、それを発している自分にも心地よいポジティブな実感をもたらします。

言い方を少し変えて、その言葉の響きを感じてみるのも良いかも知れぬ。

#ポジティブ…物事を肯定的に捉えられる、積極的に前向きな考え方や性格のこと。



森 淳一
言語聴覚士

大分県の言語聴覚士の第一人者（第3代大分県言語聴覚士協会会長 H19～H23）。

湯布院厚生年金病院リハ副部長、大分リハビリテーション病院リハ部長を歴任。現在も日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員、大分オーラルリハビリテーション研究会代表等を務める。趣味は音楽、パソコン、映画鑑賞、お酒などなど。

言葉が大切にする価値 Value

5.Challenge 挑戦の一步を踏み出す

米米月記（衛藤農家さんのお米づくり）



言の葉間違い探し



間違いのうち見つかりましたか？
正解は、こちらから確認してね。 ←